

手引きとパンフレットの  
目的・構成（案）

# 目的と想定するターゲット

## 目的

### 【手引き】

- 「知る」を促す
  - 経営者が働き方改革について検討する上での視点を提供する。
  - 「働き方改革」は人的資源を確保し、適切に管理・活用する観点からも重要かつ不可欠であり、林業・木材産業の生産性向上や持続的発展にも資することを示す。
- 「考える」を促す
  - 経営者が自社の課題の振り返りを出発点として、そこから日頃の業務を検証し、働き手のための取組を計画・実践するまでの「考え方の手順」を提示する。
- 「計画・実践する」を促す
  - 経営者が自社の取組を具体的に計画・実践する上で参考となる先進的な取組事例を示す。

### 【パンフレット】

- 「働き方改革」に対する林業・木材産業の経営者の関心を惹起しつつ、実際に手引きを手にとって読んでもらえるように誘導する（手引きの概要版という位置づけにはしない）。

## 想定するターゲット

- 全国の林業・木材産業の経営者

# 全体構成（案）

## ■ 手引き（40 頁程度）

項目	頁数	記述内容（案）
目的、位置づけ	1～2	<ul style="list-style-type: none"> <li>手引きの目的、想定するターゲット、活用方法等について説明する。</li> </ul>
林業または木材産業の働き方をめぐる現状と課題	9～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計データを用いつつ、林業または木材産業の働き方の現状を整理する（生産・経営動向、従事者数、入職者数・離職者数、労働時間、賃金、福利厚生、労働災害等）。</li> <li>上記データや経営者ヒアリングに基づいて分析した働き方に関する課題を整理する。</li> </ul>
課題解決に向けた考え方の手順	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営者が自社の課題の振り返りを出発点として、そこから日頃の業務を検証し、働き手のための取組を計画・実践するまでの「考え方の手順」を提示する。</li> </ul>
課題解決のヒントと取組事例集	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営者が自社の取組を具体的に計画・実践する上で参考となるヒント及びヒントの実践例（先進的な取組事例）を課題毎に整理する。</li> </ul>
参考）生産性向上に向けた新技術	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営者が「働き方改革」を進めつつ、生産性の向上を目指す際に参考となる新技術等について紹介する。</li> </ul>

## ■ パンフレット（4 頁）

頁数	記述内容（案）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業または木材産業の経営者が日頃直面している働き方に関する課題を例示する。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けた考え方の手順について説明する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のヒントと先進的な取組事例を3～4件紹介する（経営者の関心が特に高いと思われるもの）。</li> </ul>

## 「課題解決のヒントと取組事例集」の構成（案）

- 手引きのうち「課題解決のヒントと取組事例集」は、農林水産省「農業の「働き方改革」経営者向けガイド」（参考資料3-3）を参考に、「課題解決の方向性」⇒「ヒント」⇒「事例」の流れで整理する。
- 事例については、農林水産省ガイドの「具体例」のようにポイントのみを数行で記載する欄を設けるとともに（下記イメージ参照）、より詳細な情報を記述した「取組事例集」も別途作成する（次頁参照）。

### <イメージ>

#### 課題解決の方向性1：能力に応じた人材の配置と評価を行う

ヒント1-1：能力評価制度を導入しましょう。



#### 具体事例

事業構造の変革に向けてチャレンジへの意欲を引き出す評価制度を作る。	〇〇森林組合	事例集①
感覚に頼っていた従業員評価を具体的な項目と文章に明示する。	株式会社〇〇	事例集②
1年間の試行期間を設け、能力評価システムの浸透を図る。	有限会社〇〇	事例集③

## 取組事例集の作成・整理方法（案）

- 取組事例集は、事業者の「外形情報」、「取組のポイント」、「背景・課題」、「取組内容」、「成果」から構成される共通フォーマットを用いて記述する。外形情報では、所在地、創業年、業種（林業：素材生産、山林種苗、木材産業：製材、合板、チップ等）、従業員数を記述する。
  - 取組内容では、課題に直面した経営者が何を考え、どのように工夫し、場合によっては何に失敗し、最終的に課題の解決に至ったのかが分かるよう、プロセス情報についても記述する。
  - 成果では、取組による改善点に加えて、経営全体への貢献（経営の効率化、収益拡大、事業リスクの低減等）や副次的効果（地域の雇用創出等）についても記述する。
  - 写真等も挿入し、イメージが具体的に伝わるように配慮する。
- 外形情報（業種、従業員数等）によって整理した索引表も作成し、経営環境が近い事業者の事例を手早く検索できるように配慮する。

<b>12</b>	<b>〇〇林業</b>	所在地：〇〇県〇〇市〇〇町 業種：〇〇業	創業：〇〇年 従業員数：〇〇名
ポイント ..... ..... .....			
背景 課題	..... ..... .....		
取組 内容	..... ..... ..... ..... .....		
成果	..... ..... .....		

## 議論いただきたい主なポイント

- 手引きとパンフレットの目的及びターゲット設定は妥当か。
- 設定した目的やターゲットの観点から、手引きとパンフレットの構成（案）は妥当か。
- 取組事例集の作成方法は妥当か。
  - 記述すべき内容に漏れはないか。
  - 作成にあたって留意すべき視点は何か。
- 取組事例集の整理方法は妥当か。どのような軸で整理すれば経営者にとって読みやすいか。
- わが国の林業・木材産業は経営形態が多様であり、あらゆる経営者を対象に手引きを作成するのは必ずしも容易ではない。もし対象を絞り込んだ方が効果的と考えられる場合、どのような経営者を主な対象とすべきか。